燃える母校愛で
法政大学と法学部の
さらなる発展を！

第22号　2010年（平成22年）6月20日

法政大學 法学部同窓会報

発行所　法政大学法学部同窓会
発行人　金子　征史（同窓会会長）
編集人　佐伯　利昭（会報編集長）
事務局　〒101－0047
東京都千代田区内神田1－8－9号
福田ビル5F
TEL. 03（5283）7371
FAX. 03（5283）7455
E-mail:info@hosei-hogakubu-dosokai.jp

ザ・インタビュー⑭　株式会社パイロットコーポレーション代表取締役会長　髙橋清氏

仕事は現場解決主義

筆記具の老舗であり、万年筆は勿論、最近では文字やマーカーが消せるフリクションシリーズのボールペンやサインペンでおなじみの株式会社パイロットコーポレーション会長（昭和40年法律学科卒）を京橋の本社に訪ね、お話しを聞いた。インタビューは、下西孝理事、山嵜正俊事務局長、大塚孝子広報委員長が担当した。

カメラ部だった大学時代

—本日はお忙しい中、また、昨日海外からお戻りでお疲れの中、インタビューにご協力いただきまして、ありがとうございます。まずは、学生時代の思い出をお聞かせ下さい。

髙橋会長　私はカメラ部で、一番の思い出は、『日本の離島』という写真集を角川文庫から出したことです。その当時のカメラ部っていうのは、社会問題を写真に、映像に表すと。われわれの1年先輩とかは、例えば、「下請け」っていうテーマで撮ったりですね。「日本の離島」っていうのも、やはり問題のある島をピックアップしまして、80名ちょっとが班に分かれて行きました。私は対馬に行きましたが、その当時、李ラインっていうのがありまして、それをテーマに写真を撮りに行ったんですよ。山を越えると、ほんとに釜山の灯台の光が見えるぐらいのところですからね。あれがあるがゆえに、漁業が、問題が多くてですね、日本は大きな船を持てなかったんですよね。昔の伝馬船っていいますか、そういうので漁をしてたり。そこら辺の問題点を追及するっていいますか、明確にするってことで、行ったんですけどね。全国、北海道は天売から九州は黒島まで、各班に分かれて行ったわけですけど、特に最後の1年間は、文章も全部書いたんです。ほとんど最終年度は、学校は行っても、講堂で打ち合わせをやったり、写真選びをしました。本を出したっていうの、多分、後にも先にも初めてで、最後じゃなかったかと思いますね。民俗学の権威である宮本常一先生に監修していただき、今は手許に1冊しかなく、ボロボロになっちゃってますが、宝物ですね。

—今度、総会で、角川映画の副会長をやって、今、角川出版の会長をしている井上泰一さんに講演をしていただくのですが、これを教えたらすごく喜ぶと思います。

髙橋会長　これに携わった同期15、6名と年1回、集まって昔話をしますけど、そういう意味で、やっぱり学生時代の大きな宝であって、思い出かもしれませんね。

—法政にそもそも入学された動機っていうのは、何かおありなんですか。

髙橋会長　いや、特にないんですけどね、親が、年を取ってたもんですから、とにかく早く出て、就職はしたいと。とにかく大学入って卒業したいという時代だったんですね。

—パイロットコーポレーション（以下「パイロット」という）に入社したのはどういう理由からですか。

髙橋会長　実は、パイロットへ入ったのは、親が創業者並木良輔の出身地秩父の寄居生まれなんですよ。親はパイロットに入ってたんです。ですから、卒業してパイロットに入るっていうのは、当然のことでしたけど、面接のときに当時の役員に、「君の成績は下の下だ」って。それで、「入社するまでに、その当時の商法を暗記でもいいから覚えて勉強しろ」って言われた記憶が残ってますね。

—法政大学の社員はいらっしゃるんですか。

髙橋会長　います。今ね役員3人いるんです。大体法政の学生は、1人ぐらいずつはずっと入ってきましたね。一律に見てるわけですけど、やっぱり気にかかりますよね。10人近くいるんですかね、社員では。今年も多分、1人入ったと思いますけど。

—パイロット入社後について伺います。昭和40年に入社されて順風満帆にやっていらしたのでしょうか。

髙橋会長　入社当時は万年筆のトップメーカーでしたが、実は昭和43年に挫折しました。大赤字を出して800人近くの希望退職者を募ったりしました。しかし、昭和43か44年ぐらいに大橋巨泉の「ハッパフミフミ」っていうコマーシャルでおなじみだったエリートSという万年筆が年間100万本売れたんです。多分、今でもそういう記録、破られてないかもしれませんね。それでパイロットが立ち直ったんです。

営業活動で得た人間的付き合いは財産

—会社に入られて、トップまで上り詰められるときに、過去を振り返られてですね、一番大事に思っていることはなんでしょうか。

髙橋会長　うちの会社は、まず、技術者は別として、入ったら必ず営業は経験をしてもらうと、それが最優先なんですね。われわれもしどく当然に、入ってすぐ東京都内の文具屋さんを回って、それから出張や転勤で地方に行きました。うちの会社はメーカーですけど、文具屋さんに直接販売してるんですよ。いろんな人と、いろんな地域の人と、人間的なつき合いを含めてできたっていうのが、やっぱり、わたしなんかはなってんですけど、30年間研究を重ねて、ようやっと書くインキに変えられたんですね。やっぱり着実に、技術と、それから開発力っていうのは常に継続して最先端を行くべきだと、こういうふうに思ってるわけですけどね。特に、今の時代付加価値をどうやってお客さんに訴えられるか。それからまた、認知をしてもらえるかっていうところに重点を置いてますんで、そういう意味では、差別化できる商品を作り上げていくと。こういう基本的な考えをもってますけどね。

今、平塚にうちのインキ、それからメカですね、これを中心とした研究開発センターっていうものを作り上げまして、あと8年でちょうど100年の企業入りをするんですよ。それに向けて、より以上の商品を作り上げていこうと、そういう思いでいますけどね。

一番財産かもしれませんね。社是に三者鼎立っていう言葉があるんですよ。三者鼎立っていうのは、造る者、それから売る者、使う者と、いずれが損をしても商売は成り立たないっていう、うちの社是のトップに来る言葉なんですけどね。できるだけお得意さんに商品を見てもらって、納得した上で販売をしてもらうと。そういう基本の路線っていうのは変わらずやってきて、これからも多分変わんないと思いますけどね。

—今後の会社の取り組みについて教えて下さい。

髙橋会長　今はフリクションっていう、消えるボールペンっていうのが、中心になってきてるという意味では、差別化できる商品を作り上げていくと。こういう基本的な考えをもってますけどね。

現場解決主義を貫け

—トップが、現場によく出入りして、現場と意思疎通がよくできてるという会社は、大体発展はしてますよね。ただ、トップの、その次の次っていうと、それと同じことができるかどうかっていうと、これはかなり、という感じがしますが。

髙橋会長　そうですね。われわれは、今若い子にずっと言ってきてることは、やっぱり現場主義であって、はほとんどいらっしゃらないっていうか、高橋会長が初めてなんですけど。やっぱりそのときに、権限をもった人、それで、それをちゃんとできる人が現場へ行って、判断してやらなくちゃいかん。こういうことなんですかね。

髙橋会長　そうですね。やっぱり、現場で失敗しても、責任問題まで追及するつもりはさらさらないんですよ。失敗は原因とか理由さえはっきりしてですね、次の知恵に、あるいは力になると思ってます。

—ものづくり、日本の大国、いよいよちょっと足元が揺らいでますんで、この辺考えたら、今後というふうにしていったらいいんでしょうか。

髙橋会長　これから中国の技術の進出が今までとは違った形で出てくると思うんですよ。80%はですね、おんなじ機械使ってるわけですから、15%か20%ぐらいのところがメーカーの勝負するところだと思ってるんです。技術とか開発力だと思ってるんですよね。

—トップが、現場によく出入りして、現場と意思疎通がよくできてるという会社は、大体発展はしてますよね。ただ、トップの、その次の次っていうと、それと同じことができるかどうかっていうと、これはかなり、という感じがしますが。

髙橋会長　そうですね。われわれは、今若い子にずっと言ってきてることは、やっぱり現場主義であって、はほとんどいらっしゃらないと、知識とか頭で解決することっていうのは、やっぱり商売っていうのはあり得ないんですね。その中で、失敗を体験しないとだめだろうと。現場主義というのは当然なんですけど、現場解決っていう気持ちをもたないといけないと思ってます。

—現場解決って言われる方は、現場解決なんですよ。要するに、現場で物事を解決しないと、知識とか頭で解決するっていうのはあり得ないんですね。その中で、失敗を体験しないとだめだろうと。現場主義というのは当然なんですけど、現場に行って、要するに、体験をしてほしいっていうのが一番ですね。失敗を含めてですね、現場解決っていうのをやっぱりやってほしい。そういうのは学生のときにでも、部活とか、ゼミもそうなんでしょうけど、そういうところでいろんな学べる機会はあると思うんですね。

失敗を恐れず、現場に行って体験を

—若い方に贈る言葉を。

髙橋会長　ポジティブに、現場に行って、要するに、体験をしてほしいっていうのが一番ですね。失敗を含めてですね、現場解決っていうのをやっぱりやってほしい。そういうのは学生のときにでも、部活とか、ゼミもそうなんでしょうけど、そういうところでいろんな学べる機会はあると思うんですね。

平成22年度定期総会・懇親会のお知らせ

日　　時　平成22年7月17日（土）
受付開始　午後0時（正午）
場　　所　アルカディア市ヶ谷（私学会館）5階「穂高の間」
〒102—0073　東京都千代田区九段北4丁目2—25
電　　話　03—3261—9921
最 寄 駅　JR市ヶ谷駅　徒歩2分
地下鉄有楽町線・南北線・新宿線の市ヶ谷駅
いずれも徒歩2分
懇親会費　6000円
講　　演　午後1時
講　　師　角川出版販売株式会社（前角川映画株式会社副会長）
取締役会長　井上泰一氏（いのうえたいいち）
講　　演　映画「沈まぬ太陽」の企画から公開まで
—「角川文化」の映像、出版について

井上泰一（いのうえたいいち）氏は、昭和43年法学部（遠藤光男ゼミ）を卒業し、角川映画の社長時代に映画「沈まぬ太陽」を完成させた方です。映画化不可能と言われた原作山崎豊子の「沈まぬ太陽」の映画化の完成に至る苦労、秘話など興味深い話しを講演します。
会報21号の1面に井上氏を紹介しています。また、インターネットでも井上氏のプロフィールを知ることが出来る映画界及び出版界の重鎮であり、更に人間的魅力あふれる方です。

定期総会　午後2時頃（講演終了次第）
懇 親 会　午後2時半ごろ
※法学部同窓会会員以外の方もご参加下さい。講演だけの参加も結構です。事前に事務局に連絡をいただけると助かります。

法政大学法学部同窓会
ホームページ
のご紹介
http://hosei－hogakubu－dosokai.jp

法学部長挨拶

杉田　敦

昨年に引き続き法学部長を務めます杉田です。同窓会の皆様には、日頃から学部運営のために、また卒業生のためにご尽力いただきまして、本当にありがとうございます。

本学部の教育環境は、お蔭様で、この数年で急速に整備されてまいりました。政治学科から分離・発展する形で国際政治学科が発足し、教授の陣容もさらに充実したものとなりました。この春には第二期生を送り出し、国際的に活躍する人材の輩出が期待されています。

法学部関係では、旧司法試験と法科大学院との両方のルートを通じて、法政出身の法曹が養成されています。法律学科のカリキュラム改革も進み、教育内容が充実してきています。今後は、学部と法科大学院との連携をさらに強めるなかで、教育の一層の高度化を図ります。

大学全体の中での法学部の位置も再確認されつつあります。ご承知の通り、本学ではしばらくの間、新たな分野の開拓が進み、新学部の創設が続いてきました。こうした動きによって、本学全体として、新たな魅力が生み出されたことは間違いありませんが、学部新設が一段落した今、法学部などの伝統学部の底力が改めて注目されるようになっています。

現在、未曾有の経済危機を経験する中で、政府の役割が再評価の機運にあります。市場経済の重要性を前提としながらも、それが暴走しないように監視し、さらに市場からこぼれ落ちた人々を救済するために、政府は重要な意義を有しています。

ここ数年は、民間の活力が強調される一方で、公務員の腐敗や非効率についての告発が進んできました。綱紀の粛正はもちろん必要ですが、政府に固有の役割があることもまた確かです。本学部は、従来から、国家公務員・地方公務員を多く送り出してきましたが、優秀な公務員の養成にもさらに意を用いて行きたいと思います。

卒業生の多くが活躍する民間部門についても、経済危機に際していたずらに悲観することなく、自らの能力を高めて行けば活躍の機会があることを、学生に周知徹底してまいります。就職状況について、情報の収集に努めると共に、必要に応じて迅速な対策をとれるよう、万全の態勢で臨む所存です。この面では、他の側面にもまして、同窓会の皆様のご協力を仰ぎたく、今後、いろいろとご相談させていただきますのでよろしくお願いします。

法学・政治学の役割としてとりわけ重要なのは、紛争の解決です。人間社会では、利害関係をめぐって、あるいは宗教・民族・言語の違いをめぐって、紛争が生じる可能性が常にあります。対立を直視しながら、どう合意をつくり出すか。混迷する世界でますます求められつつあるこうした課題追求のため、法学部は研究・教育の両面で努力を続けますので、ご支援・ご協力を心からお願いいたします。

講演会を振り返って

法政大学法学部政治学科2年
志雄会　副代表　山崎義喜

5月19日の夕方、富士見坂校舎地下1階ステラピアホールには法政大学の校歌や「若き日の誇り」、その他応援歌、学生歌が流れていた。法政大学のOBが講演に来るというので志雄会の会員が気を利かせて音楽をかけてくれたのだ。天候は生憎の雨となってしまったが会場には会員含め約80名の参加者が集まってくれた。その参加者も向学心溢れる学生からかつては法政大学に通い、今は社会の各方面で活躍している同窓会のOBのかたまで幅広い層が参加してくれた。

午後5時になると講演者の菅義偉衆議院議員が会場に入られ、会場は拍手に包まれた。菅先生の話が始まると会場は静まり返り先生の話に聞き入っていた。菅先生の話の内容は東京に上京し法政大学に入学した経緯や何故横浜市会議員、国会議員になったのかといった話であり、菅先生はこれから社会に羽ばたいていく学生に向けて熱く語りかけるように話していた。その姿もいつもの迫力がある衆議院議員の姿という感じではなく、一OBとして我々に語りかけているようだった。普段国会議員と接する機会がなかった参加した学生からは国会議員のあまり垣間見れなかった姿を見ることができ満足したと言っていた。

質疑応答では学生やOBから様々な質問が飛び出し、菅先生は最後の一人まで丁寧に質問に耳を傾け、答えていた。

最後の集合写真撮影と交流会ではまさに学生と政治家の垣根を越えた交流ができていたと思う。アンケートでも菅先生の人柄の良さに感動した学生もいてお互いに時間いっぱい楽しんで頂ける形となり、講演会運営総責任者を務めた私も今回の講演会を行って良かったと思える瞬間であった。

志雄会紹介

私たち志雄会は「勉強会」・「講演会」を軸に活動している学術団体です。まだ創設から3年と設立から間もない団体ですが、上記の二つの活動を中心に活動の幅を広げています。

2010年四月現在、会員の規模は法政大学の学生40名弱、東洋大学の学生1名の有志で構成されており、日々勉学に励んでおります。

具体的な活動の一つ目「勉強会」ですが、各会員の興味分野、専門分野を広く他の学生に発表し、意見交換などを目的として行っています。勉強会のテーマは国際問題から地域活性化まで、と幅広く多くの会員の様々な意見交換により多くの見識を持つことができ、個々人の更なる探求の手助けとなるとともに、幅広い分野の知識を吸収できる有意義なものになっております。また、前年には副代表山崎が北方領土に内閣調査団随行員として渡航し、現地視察、研究に基づく勉強会を開催し、勉強会も新たな可能性を広げつつあります。

もうひとつの活動の軸「講演会」は基本的に年三五回開催しております。これは、志雄会が学生に向けての学術の場を提供するという形で行ってきました。なので、入場無料、学生主催が基本原則です。基本的には新年度、学園祭での企画が主力ですが、随時可能であれば行っていく方針を取っています。前年度には四月に山本一太参議院議員、学園祭には鳩山邦夫衆議院議員をお招きしての講演を行いました。今年度も大学、理事会のご協力あって法政大学OBでもあり、衆議院議員菅義偉先生をお招きしての講演会が開催できることになりました。

以上のような活動を中心に行っていますが、本年度はその他にも「学生インターン」等を通して政治の現場へ赴いて生きた知識を吸収するという活動も積極的に行いさらに活動の幅を広げ、外部団体との交流も盛んになり新たな局面を迎えております。

よろしくお願い致します。

志雄会一同

2009年度の進路状況について

法政大学キャリアセンター事務部長　丸山　悟

氷河期並みの厳しさとなった就職状況の中、本学の「2009年度の就職希望者に対する就職決定率は」は96・6%（前年度98・3%）という高い数値を確保しました。一方、東証一部上場企業の内定率は23・8%（前年度27・5%）にとどまり、大手志向の学生には厳しい結果となりました。

【業界別就職状況】

法学部生の進路を業界別にみると、①金融・保険20・5%、②公務16・8%、③製造13・4%、④サービス12・9%、⑤卸・小売10・7%、⑥情報・通信10・5%、⑦教育4・2%となっております。今回の特徴として、「公務」が昨年と比較して1・6%増加したことと、昨年度第6位の「卸・小売」が第5位にランクされており、不況の影響を受けにくい業界を志望した学生が増加した結果と言えます。

【内定者の多い企業】

①警視庁（12名）、②川崎市役所（7名）、③みずほ信託銀行（6名）、④千葉銀行、横浜銀行（各5名）、⑥大田区役所、千葉市役所、日本興亜損害保険、東日本旅客鉄道、三菱東京UFJ銀行各4名）、⑩神奈川県庁、KDDI、中央労金、東京都庁、りそな銀行、横浜銀行、かんぽ生命保険（各3名）、と続いています。

【進学状況】

本学をはじめ他大学大学院（法科大学院以外の大学院も含む）への進学者は、昨年度の45名から69名に増加しています。内訳は、①法政（25名）、②明治（14名）、③早稲田（6名）、④慶應、首都大学東京、中央、東北、立教（各3名）、⑨東京外語大（2名）、⑩上智、神戸、青山学院、専修、大東文化、東京、明治学院（各1名）、計69名となっています。

【キャリアセンターの活動】

キャリアセンターの強みとして、以下の3点を紹介いたします。①「学生のニーズにきめ細かく対応する就職支援プログラムの数々。就職ガイダンス、業界セミナー、就職セミナーなど、学生を大教室に一同に集めて行う講義形式による就職支援行事を実施することもちろんのこと、同時に人数規模の異なるプログラム（たとえば、現在学生に人気のある金融・商社・生損保・メーカー業界を深く研究していく連続講座など）を多数用意することで、重層的なサポートを行っています。②「Webによるきめ細かな情報提供」。志望動機、学生時代に力を入れたこと、自己PRなどが記載された「活動報告書」、人気企業に内定した「先輩のエントリーシート」、「OB・OG情報」、「求人情報」など、すべてデジタル化して閲覧できるようになっています。③個別就職相談に対してきめ細かく対応。専任職員、キャリアアドバイザー、シニアアドバイザー総出で、進路選択・職業選択・企業研究・エントリーシートおよび履歴書添削・面接対策など、学生からの幅広い相談内容に対して、常にきめ細かく親身になって対応しています。

岐阜市にて法学部学生による無料法律相談会を開催

法律相談部では、毎年夏に無料出張法律相談会を開催しております。昨年は仙台市にて開催しましたが、今年は下記のとおり岐阜市にて開催します。

日時　平成22年8月28日（土）
　　8月29日（日）
　　午前10時より午後4時まで
場所　岐阜市「じゅうろくプラザ」

法律相談部出身の弁護士等専門家が学生の相談活動をサポートします。

外濠法相会　会長　田口　穣

問い合わせ先
03－3436－2338
下山法律事務所内・柳田

山田司法書士事務所
司法書士　山田富治
〒380－0801　長野県長野市箱清水1－6－13
TEL 026（235）1878
FAX 026（232）4432

法政大学法曹会事務局長
弁護士　山崎雅彦
〒102－0072　東京都千代田区飯田橋2－16－9　トーアビル203号
電話　03－3221－6222　山崎雅彦法律事務所

中学・高校受験塾　聖学舎
塾長　大住明敬
〒341－0018　埼玉県三郷市早稲田2－16－16－302
TEL 048－957－8608
FAX 048－957－5979
（昭和50年・法学部卒）

不動産管理
有限会社ヤマサ
監査役　山嵜正俊
昭和四四年三月　法・法卒
電話 03－3233－3501
FAX 03－3233－3505

北斗総合法律事務所
弁護士　中島真介
〒100－0006　東京都千代田区有楽町2－2－2　数寄屋橋大雅ビル3階
電話　03－3574－8608
昭和四二年法学部卒業

日本中国友好協会
理事長　田中義教
元法政大学理事
法学部同窓会理事

財団法人　日本不動産研究所　北海道支社
不動産鑑定士／不動産カウンセラー
参与　市川喜通
〒060－0006　札幌市中央区北二条西四丁目一番地　北海道ビル六階F
電話　〇〇－二二二－四〇一八
FAX　〇〇－二二二－四〇一八
昭和44年法学部卒（民法須永ゼミ）

法学部同窓会
副理事長　荒井正
（〒）三〇六－〇〇一六　茨城県古河市古河六六－五

法政大学法学部同窓会理事
後藤紘志
〒286－0201　千葉県富里市日吉台6－21－6
宮崎県日向市出身・宮崎大宮高校
昭和39年3月　法学部法律学科　卒

法政大学法学部同窓会理事
馮汝城
日本東京都港区赤坂八丁目十二番地四號
電話：（〇三）三四七九－二六三六
傳眞：（〇三）三四〇四－三一八二
昭和36年法学部卒（田中直吉ゼミ）

短信

法政大学の人脈をつなげて

水谷英東

私は、昭和五七年に新潟県新潟市で生れました。新潟で十九年間過ごした後、法政大学入学を機に上京をしその後、平成十七年三月に法学部法律学科を卒業しました。卒業後、平成十九年に司法書士資格の取得をし現在は四谷で、すぼる司法書士事務所を共同経営しております。

さて、学生時代から、特に大学との強いつながりがあるわけではなかった私が、いまこうして皆さんにお目にかかれるのは、ある一人の法政大学の先輩との出会いがきっかけでした。いま、その方との出会いを思い返してみて、法政大学という存在の力を改めて実感しています。卒業後も大学の看板は続くものなのだ、という当たり前のことに、今になり気づいた自分を恥ずかしく思う反面、そのことが自分への責任として自覚できることをうれしくも思っております。

法学部同窓会への参加は、私にとって自分のためのチャンスであると同時に、これからも多くのものを与えてくれる法政大学への恩返しのためのスタート地点でもあると思っています。この出会いを、更なる次の出会いへとつなげられるようがんばっていこうと思いますので、今後ともよろしくお願い致します。

もうすぐ20年

後藤　睦

私が法政大学法学部に入学したのは、1991年の4月でした。時はバブル景気の最後、日本はまだまだ元気で、私も司法試験を目指し、夢を膨らませて入学しました。さて、それから4年が経ち、私が大学を卒業してから速いもので、もう15年が経ちました。私が卒業した1995年は、1月に阪神淡路大震災、3月に地下鉄サリン事件があった年であり、あれからもう15年も経ったのかと、あらためて時の流れの速さを実感しています。当時を思い返してみると、バブルが弾け、時代は入学時と打って変わって就職氷河期といわれる時代、もともと司法試験志望であった私は、真面目に就職活動もせず、かといって司法浪人も出来なかったため、たまたま合格した、政府系の特殊法人に就職しました。

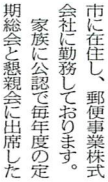
しかし、どうしても法律関係の仕事がしたくて、1998年に司法書士の資格を取得し、2006年に豊島区の東池袋で独立開業して今日に至っております。

仕事柄、法学部での勉強は、後々になって役立っています。

最後に一言、理事になったり、定期総会・懇親会に参加しませんか。

同窓会は、楽しいぞ

横川　正樹



法学部同窓会の理事に応募しませんか。

私は、昭和五七年に卒業して、現在、新潟県糸魚川市に在住し、郵便事業株式会社に勤務しております。

家族に公認で毎年度の定期総会と懇親会に出席したく、また、母校のお手伝いができればと思い同窓会の運営理事をさせていただいています。理事の仕事として、地元の高校生に我が母校法政への進学の参考にして欲しく、雑誌「法政」を配布しております。

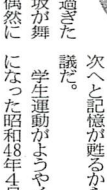
学生生活は、仕事と学生の二足の草鞋でしたから授業が終わってから、友と神楽坂で飯を食べ、飲み語り合うことが楽しくて学校に通っていたように思います。

仕事柄、法学部での勉強は、後々になって役立っています。

最後に一言、理事になって欲しく、雑誌「法政」を配布しております。

「神楽坂」雑感

長谷川　和伴



卒業して30余年が過ぎた平成19年1月、神楽坂が舞台のテレビドラマを偶然に見た。日本TV系列でアイドルグループ〈嵐〉の二宮和也主演の「拝啓　父上様」である。

懐かしかった！

神楽坂の料亭で板前修行をしている主人公が仕事を通して、また恋をしながら人間的に成長していく物語である。学生時代「料亭」と縁があったはずもないが、映し出される風景がとにかく懐かしいのである。JR飯田橋駅界隈、外堀、お堀に面したカフェテラス、JRのオレンジと黄色の電車、そして遠くには我が母校のボアソナードタワー。外堀通りから上る坂の両側の街並み、毘沙門天。

先輩たちとよく行った〈鳥忠〉〈鮒忠〉は今もあるのだろうか。齢五十半ばになると、つい先程の事はすっかり忘れているが、30年前の学生時代の事ははっきりと覚えていて、次から次へと記憶が甦るから不思議だ。

学生運動がようやく下火になった昭和48年4月入学した。まだ入り口には立て看板があり、ヘルメット学生もちらほらいた。田舎者には怖かった。まだプレハブの部室だった法学会「無料法律相談部」に入部して先輩に守ってもらった。神楽坂の鳥忠でごちになった。相談部には4年間所属して一生涯の友とほろ苦い思い出ができた。下森定先生のゼミ合宿の打上げを神楽坂の鮒忠でやり大いに盛り上がった。六大学野球はちょうど江川の時代、優勝の提灯行列で神楽坂を廻り差し入れの一升酒をラッパ飲みした。クラスの友達の下宿が神楽坂にあって、飲んでは押し掛けてどんちゃん騒ぎをし、大家さんに怒られた。

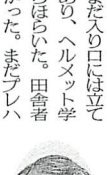
「神楽坂」は今も私の学生時代のまん中にある。数年前、相談部の同期会を ボアソナードタワーでやり、学生会館にある部室に寄って後輩達に先輩風を吹かせ、そのあと神楽坂に繰り出した。「料亭」には行かず（行けず）甘味処に入った。楽しいひと時だった。

誰にも青春時代の思い出はあるが、その当時無我夢中で過ごしていた日々を、TVドラマで鮮明に思い出した事が嬉しかった。大学は勉学の最高学府であるが、同時に青春期における自分が主役のドラマ、最高ステージでもある。

放送終了後、すぐにDVDのセットを購入した。宝物である。さあ、今夜も30年前にタイムスリップすることにしよう!!

後援会もよろしく

安原　勝



法学部を卒業してはや四〇年。六十二歳になりました。四十六歳までは東京で、その後は帰郷し、岡山県倉敷市で十五年間サラリーマン人生を送っています。

私と法政との関係は五年前に先輩の推薦で地方理事にさせていただいた時から復活しました。その後、息子が経営学部に入学し、その縁で大学後援会とも関係を持つようになり、現在は岡山県支部の支部長を務めています。後援会は在学生の父母の会で、「子供の母校は我母校」を合言葉に二ケ月に一回程集まって、子供の東京での生活情報や大学への要望事項をまとめて伝達しており、父母の中には同窓生以上の法政ファンも多数います。息子も四年生となり、私の支部長の任期も後一年ですが、地方での法政の名声アップのため全力投球いたします。息子は就職活動をせず、公認会計士を目指して頑張っており、私は若い時の苦労は必ず長い人生においてプラスになると信じて目標達成できるか否かを考えずに応援していくつもりです。

良き師良き友に恵まれた自分

岡野　悦郎

昭和五六年法学部卒。一浪し、一年留年、四年のところを五年かけて卒業しました。大学法学部卒業後、初級国家公務員試験に合格し、東京地検総務部調査課検察事務官兼法務大臣官房秘書課・法務事務官に採用になりました。二八歳で、広島法務局因島出張所法務専門職兼臨時代理登記官（副所長待遇）。発病後の三五歳で因島市役所の臨時職員試験に合格し、リストラで首になるまで、信じられないことに五年間も病人としてではなく一般社会人と同様に働きました。

良き先輩、良き同級生、良き同僚、後輩に恵まれ今の自分があります。

今年五二歳になりますが、残念ながら身体をこわし字も上手く書けない状態です。障害年金で生活しています。

時々、高校時代の同級生が新聞販売店の店長をしているので、新聞の配達集金などのアルバイトをさせてもらい生活をしています。私も頑張っています。病気で倒れた方、障害が残っている方も一緒に頑張りましょう。

議論と酒に浸った学生時代

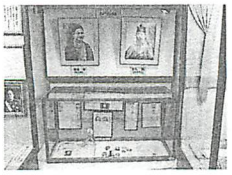
北島　隆

法政大学が、あまりに好きだったためと行きたい会社に入れなかったため、同期より1年学生生活を満喫し、平成4年に卒業いたしました。卒業後は東京都庁に入り、イベントと人事を中心に経歴を重ねてきました。これまで、都庁全体の採用や福祉保健局の人事を担当したり、「東京国際アニメフェア」の事務局として4日間で約10万人を集めるイベントを開催したりしておりました。これは、都庁でも少々変わった経歴かもしれないと思っております。また、管理職として始めて担当した業務もイベントで、国際パラリンピック委員会の公認大会である「東京2009アジアユースパラゲームズ」の開催でした。現在は、観光部で、東京への観光客誘致に取り組んでおります。

学生時代は、弁論部に所属し、議論とお酒に浸る毎日でした。素晴らしい仲間達に出会えたのは言うまでもありませんが、かなり年齢の離れた先輩方からも多くのことを学ぶことができました。また、連盟の活動を通じ他大学の多くの仲間たちと出会うことができたのも大きな財産だと思っています。また、ゼミは、教員を目指していたこともあり永井憲一先生の教育法のゼミでした。ゼミのモットーは「よく遊び、よく学べ」でしたが、「よく遊び」は、かなり高得点だった自信がありますが、「よく学び」は及第点をいただけていなかったと今更ながら反省しております。

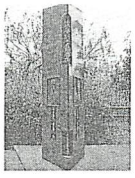
杵築（きつき）紀行

組織委員長　柳田正義



今年の初め仕事で大分へ行きました。仕事が終わった後帰京するまでの間、武家屋敷等の古い家並みが残っている杵築市内を見学しました。

杵築市は国東半島の南側・別府湾に面した都市ですが、空襲にも免れたようで江戸時代の雰囲気が色濃く残っておりました。南端には別府湾の一角守江湾を一望する杵築城が建っておりますので、見学するため緩やかな道を昇って行きました。お城の手前に目立つモニュメントを見つけましたので、近づいて見ますと「法政大学」という文字が目に入って来ました。そして、この碑に刻まれた文字を読んでみて更に驚きました。



法政大学の創始者は、金丸哲、伊藤修、薩摩正邦の3名と言われておりますが、そのうちの金丸、伊藤の2名がこの杵築市の出身者（杵築藩士）であったのです。杵築城敷地内の三角錐の碑「法政大学創立者顕彰碑」はこの二人を顕彰する為、平成5年4月に建てられたものでした。碑の正面左右にお二人の上半身の彫刻がはめ込まれ、裏面には発起人として杵築市長の外、当時の阿利総長や交友会長が名を連ね、顧問欄には中村哲元総長や青木宗也前総長と言った私どもには懐かしいお名前も見えました。

その後、杵築城の建物の中を見学しましたが、3階建ての建物の2階部分に「法政大学創立者」コーナーが特設されており、前記お二人の写真のみならず種々の新聞記事が掲載されておりました。その記事によりますと、法政大学の創設百周年記念を機に草創期の資料を発掘して、杵築市民であったことがつきとめられ、郷土史家らの協力で生い立ちや経歴がようやく明らかにとのことです。

いずれにしても、杵築市民の法政大学にかける想いが伝わって来るようで、驚きと感激の一日となりました。

鈴木武志法律事務所
弁護士　鈴木　武志
〒105－0003　東京都港区西新橋一丁目一〇番三号
TEL〇三（三五〇三）一七七一（代）
FAX〇三（三五〇三）一七七二
（昭和42年3月卒業）

下西技研工業株式会社
代表取締役　下西　孝
〒158－0081　大阪府東大阪市島之内6－2－16
TEL 06－6631－3716
FAX 06－6631－3735
URL www.magtec.co.jp
e-mail:shimo@mag.tec.co.jp
◆本社　〒578－0081　大阪府東大阪市島之内6－2－16　TEL 06－6631－3716　FAX 06－6631－3735
◆工場　〒649－0227　和歌山県岩出市岡田691－1　TEL 0736－63－1143　FAX 0736－63－1435
◆東京事業所　〒105－0003　東京都港区西新橋1－1－13　第2日東ビル7F　TEL 03－3591－5518　FAX 03－3591－5571
＊昭和44年法学部卒

マグテック株式会社
代表取締役　下西　孝
〒578－0081　大阪府東大阪市島之内6－2－16　TEL 06－6631－3716　FAX 06－6631－3735
URL www.magtec.co.jp
e-mail:shimo@mag.tec.co.jp
◆本社　〒578－0081　大阪府東大阪市島之内6－2－16　TEL 06－6631－3716　FAX 06－6631－3735
◆工場　〒649－0227　和歌山県岩出市岡田691－1　TEL 0736－63－1143　FAX 0736－63－1435

有限会社　東洋紙工
代表取締役　針谷　克敏
東京都板橋区新河岸3－6－18
法学部　法律学科　昭和40年度卒業

法政大学法学部同窓会
財務室長　中村　眞一
〒169－0073　東京都新宿区百人町一－二三－一三　大和ビル四階
TEL 〇三（三三七一）一七八一
FAX 〇三（三三七一）〇七六二

法政大学法学部同窓会理事会
小野瀬　敬二
〒252－0184　神奈川県相模原市緑区小淵1814－7
TEL 042－686－7045
e-mail:konose@mub.biglobe.ne.jp
昭和35年3月法学部卒業

法学部同窓会常任理事
司代　隆之
茨城県筑西市甲610
TEL 0296－22－3678
FAX 0296－25－1658
昭和36年3月卒

有限会社　アドバン東京インターナショナル
代表取締役　田中　伊和生
〒160－0022　東京都新宿区新宿二－一八－一〇
TEL 〇三（三三五四）六三三七
FAX 〇三（三三五四）一九〇二
（昭和四三年法政大学卒業）

弁護士　鈴木　貞司
〒060－0001　札幌弁護士会館六階
（札幌簡裁司法委員24期）
（自伝ロースクールの頑張りに期待しています。）
札幌市中央区北一西二　札幌弁護士会館六階
電話〇一一－二二一－三三一一
FAX〇一一－二二一－三八〇〇

法政大学法学部同窓会
理事　大崎　光雄
〒二七〇－二二〇三　千葉県松戸市六高台九－一一－一
電話〇四七（三八三）五〇〇三
FAX〇四七（三八三）五〇〇三
昭和四十二年度　法学部法律学科卒

卒業生祝賀会を開催

恒例の法学部同窓会主催卒業生祝賀会が、三月二四日午後六時から、ホワソナードタワー地下一階「フォレストガーデン」で開かれ、今年も多くの卒業生が参加、大きな盛り上がりと、同窓会の広がりを見せました。

今年は卒業式が、午前、午後の二部制になり、市ヶ谷校舎組みの法学部は午後からの式典となり、それに伴い祝賀会も夕方からの開催となったため、学生の参加人数に若干の不安はあったものの、そんな不安など吹き飛ばさんばかりの卒業生が、折からの雨にも関わらず、続々と会場に足を運びました。

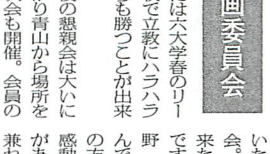
受付では卒業生一人ひとりに、法学部同窓会が作成した、大学、同窓会関係者からの祝賀のメッセージが掲載された記念の冊子が手渡され、席について熱心にそれを読む卒業生の姿が、とても印象的でした。

斎藤勇雄理事の司会で開会、最初に挨拶に立った五明公男同窓会理事長から、いつもの名調子で「良き師に出会ったか、良き友に出会ったか」の呼びかけに、卒業生も大きな声で答えました。続いて杉田敦法学部長から「今日は多くの教員も来ています。卒業をしても足が遠のくことなく、大学の地に帰ってきてほしい。この絆を大切にしてください」との祝辞が述べられました。その後出席いただいた大学常任理事の浜村彰教授、八年前この祝賀会を初めて開催する際に、大変ご協力いただいた当時の法学部長鈴木佑司教授、テレビのワイドショーのコメンテイターも務める萩谷順教授、さらに中野勝郎教授、森田章夫教授、大澤彰准教授、高友希子准教授、広瀬克哉教授、宮崎健蔵教授、権鎬淵教授、寺尾方孝教授から順次祝辞を頂きました。

続いて小野瀬敬二同窓会副理事長の発声で乾杯、お酒が進むにつれ、会場の雰囲気も一気に和らぎ、お世話になった先生や、友人と記念撮影をする姿が、あちらこちらで見られました。

さらに同窓会の先輩から激励の言葉が送られた後、卒業生からも学生時代の思い出や、これからへの決意が述べられ、瞬く間に時間が過ぎて行きました。

時の過ぎるのは早いもので、閉会の時間が近づいたところで、応援団によるパフォーマンス。応援歌「若き日の誇り」に四年間の様々な思い出がよみがえる、そんな瞬間でした。最後に出席者全員が肩を組み校歌を斉唱。荒井正同窓会副理事長の閉会の辞で会を閉じましたが、名残を惜しみ、いつまでも会場を去ることができない多くの卒業生が見受けられました。こうして彼らの法政大学での学生生活最後の日が終わりました。次はぜひ、同窓会理事として、この会に参加してもらえることを、期待しています。



氷見の寒鰤旅行記

前本正彦

本年二月、法学部同窓会恒例の氷見寒鰤旅行に参加した。一昨年一月に次いで連続である。このイベントを企画したのは、氷見市出身の堀理事である。彼の母校と郷里への思いには、格別のものを感じる。「天然鰤のほんとうの旨さを味わって欲しい」と言う勧めに疑いはなかった。今回、満を持しての寒鰤との再会である。

現地へのアプローチはJRを利用、この時期特有の雄大な冬景色を味うのも楽しみの一つである。それに今回は心憎いほどのサプライズが用意されていた。氷見線の乗継駅高岡で、経済学部出身の森、山川さん達に遭遇、他の学部と共に楽しみを分ち合える機会を作りたいと理事長始め皆の期待が既に実現しているではないか。そしてこれは、今回の前哨戦に過ぎなかった。

宿舎で湯浴みの後、宴会場に着くや、現地校友会の松井会長始め松田副会長及び幹部の皆様が着座され、加えてその席に、元神宮の星、山中投手とかつて甲子園で徳島の坂東投手と決勝戦で十六回を戦った魚津高校の4番バッター吉田さん達が凛とした風格の中にも、違方からの友人を、仲間として迎え入れる姿に、私達の感激は最高潮に達していたのである。

松井会長始め、紅一点境先生、櫛部氏、糸魚川から駆け付けてくれた横川さん、何のためらいもなく、お互いがあるがまゝの姿で受け入れ談笑できる。この至福の一時、これぞ法政大学の絆で結ばれた者達の最高の恩恵であると確信した。その夜は感動の余韻の中で床に着く。

翌朝は幻想的で美しいご来光で覚醒する。朝食後、三台の車に分乗、市内観光が用意されていた。最後まで心を釘付けにするまさしく氷見づくしの旅である。朝日山公園、海浜植物園、十二町潟水郷公園、上日寺、海鮮館、阿尾城跡、海越しに望む立山連峰の全景は残念ながら次の機会にして、このコースのガイドと海の幸まで頂き富山県校友会の皆さんに感謝し、絆の大切さを同時に味っています。

留学生卒業祝賀会に出席して

大﨑　光雄

三月二十四日に法学部卒業生祝賀会がありました。

その祝賀会と同時に留学生卒業祝賀会もあり、数名の理事と共に合間を縫って出席をさせて頂きました。

すでに懇親会は始まっており、会場内では増田総長をはじめ大学の関係者と留学生とが和気藹藹と楽しそうに懇親を深めておりました。

その留学生の多くは中国や韓国など東南アジアを中心とする卒業生で、これから祖国と日本において活躍を期待される雰囲気が漂っており、皆さん凛々しく活発で明るい人柄を感じました。多くの留学生は卒業して、まず日本国内で就職して自分を磨き人脈を作りいずれ祖国と日本並びに各国との間において活躍をしていきたいとの抱負のようです。ただ、留学生の一人から卒業式は終わったが「まだ就職先が決まっていないのです」とのこと、国内学生でも就職難の時代である。なんとも考えさせられる一言でした。

いずれこの元気で明るい留学生の皆さんはこれから世界に向かって大活躍をされることと拝察いたします。大いに期待を致しますと共に、年々留学生に積極的に支援を試みている当同窓会は尚一層の交流を高めいろいろな場で絆を深めてまいりたいものと思います。

改めて卒業された留学生の皆さんの今後のご活躍をご期待申し上げます。

企画委員会

四月には六大学春のリーグ戦観戦で立教にハラハラしながらも勝つことが出来ました。

試合後の懇親会は大いに盛り上がり青山から場所を変え二次会も開催。会員のご希望も取り入れながら、好評の行事にプラスして新しい事も、考えております。昨年の秋、多摩校舎でスポーツ健康学部の授業を孫のような一年生と一緒に受講しました。江本氏の講演・選挙・議員時代のよもやま話は笑の中にも人生の機微を感じとった学生さんも多い事でしょう。丁度、紅葉の時期で「又来年も来たいね」と声が出たくらいです。馬術部にも寄らせていただき「お馬さん」に再会。今年は乗馬に挑戦が出来たらと願っているところです。十一月三日からの上野「日展」観賞は一度皆さんで出掛けましたが初めての方も多く素晴しかったと感動されていました。時間がありましたら上野散策も兼ねて…。「親睦一泊旅行」は法政箱根荘を予定。皆さんの参加が多い程楽しさ倍増ですので宜しくお願いします。

春季六大学野球観戦記

理事　伊藤　信

今年も六大学野球が始まりました。毎年春と秋一回づつ法学部同窓会企画委員会主催で五明先生囲んで観戦しています。

今年は四月十七日、法政にとっては初戦の立教戦を富山から来られた方を含め総勢九人での応援となりました。四月中旬にも拘らず都心で明け方には雪が降り、開催が危ぶまれましたが、一時間遅れで試合が開始されました。第二試合で我々が球場に入る頃には青空が広がり芝生の緑が春の陽光に眩しく目に映っていました。試合は直球を武器に加賀美投手が十回を完投し、十回のチャンスに多木選手の二点二塁打で勝ち越し四対二で勝利しました。

この日の最高気温11度の寒さは何回かのチャンスにスクラムを組んでの応援ですっ飛びました。その後の「宴の席」が大いに盛り上がったことは言うまでもありません。

青森大会

事業・企画委員会委員長　山田　綾子

法政大学全国卒業生の集い

本年度第十八回大会は日本の火祭り・ねぶた祭で有名な青森で開催されます。国の重要無形民族財に指定されている青森ねぶた祭は八月二日～七日に行われ、全国から訪れる三百五十万人を超える観光客を魅了しています。

紅葉の秋はため息が出るほど美しい。十月八日は記念ゴルフ大会（青森カントリー倶楽部）九日（土）の大会式典・懇親会はホテル青森で開催。十日はエクスカーション・青森観光を大いに楽しんで戴きます。銘酒・津軽海峡・日本海の美味・山の幸に酔いしれる事でしょう。良き師・良き友の集いでお会いいたしましょう。

会費納入・寄付金のお願い

財務室長　中村　眞一

平成22年度（22・4・1～23・3・31）の4、000円の年会費の納入をお願いします。また平成21年度の未納の方もお願いします。未納が長く続いている方も平成22年度から新規一心、会費をお願いします。尚、一括して8万円をご納入されれば生涯会費が不要な「終身会員制度」もありますのでご利用ください。

また苦しい財政を補うため有志の方の寄付金も募っております。御協力をお願いいたします。尚、本年度の会費は同封の郵便局の振替用紙にても可です。

振込先　みずほ銀行東京中央支店
普通預金　8558615
名義人　法政大学法学部同窓会

卒業生であることは問いませんので、ご友人、お勤め先、お取引先等にもご紹介下さい。次回会報は11月頃を予定してます。

記

［広告の大きさ］
縦6・4㎝×横2・4㎝を1コマとし、何コマでも可です。

［掲載料］
1コマ1万円（消費税込み）

［支払時期］
会報に掲載後、掲載した会報とともに請求書を送付致します。

広告募集

会報の下欄に広告を載せています。下記の要領で募集しますので、ご応募のほど宜しくお願い致します。

原稿募集中です

広報委員長・大塚　孝子

本会報第24号（2010年11月発行予定）に掲載する原稿を募集しています。

〈短信〉
本法学部出身者あるいはグループの近況報告やしようとしていること等を200字～400字程度で（顔写真を添付、サイズはプリ）。

〈話題〉
法学部出身者、グループに関する話題を300字～500字程度で（それに関する写真を添付）

〈新会員です〉
入会1年未満の方が対象。抱負、同窓会への期待、どのような活動をしたいか等を400字程度で（顔写真添付、サイズはプリ）。

【投稿方法】
①マス目の原稿用紙か、パソコンを使用（1行12文字で作成）、②住所、氏名、年齢、職業、電話、FAX番号、何年卒業かを明記、原稿、広告とも

【締切】
9月30日（木）

【問い合わせ・あて先】
〒101-0073
東京都千代田区九段北4-1-5　市谷法曹ビル809
大塚孝子法律事務所
電話　03-3262-7141
FAX　03-3262-7142
メールアドレス　t. otsuka_office@isis.ocn.ne.jp

新入会員（H21.11.1～H22.5.10まで）

6245	おおはしとしかず	大橋　寿一	YM	学部	政治	昭和	61
6246	はちやかずひろ	蜂谷　和弘	YM	学部	法律	平成	2
6247	おかしゅうじ	岡　衆司	YM	学部	法律	昭和	58
6248	やまもとのぶひこ	山本　暢彦	YM	学部	法律	平成	22
6249	あしかやじゅんいちろう	蘆萱　潤一郎	YM	学部	法律	昭和	47
4250	ばんないあきひこ	坂内　明彦	YM	学部	政治	昭和	63
4251	いとうしん	伊藤　信	YM	学部	法律	昭和	39
4252	かたおかこうすけ	片岡　耕介	YM	学部	法律	平成	22
4253	ひがしまさと	東　優人	YM	学部	法律	平成	22
4254	ふくしまようへい	福島　洋平	YM	学部	政治	平成	22
4255	ふるはやしいたる	古林　到	YM	学部	政治	平成	22
4256	かたぎりたかし	片桐　昴	YM	学部		平成	22
4257	おざきこうよう	尾崎　光洋	YM	学部	政治	平成	22
4258	ちかしらかずや	千頭　数也	YM	学部	国際政治	平成	22
4259	くぼたしょうた	窪田　翔太	YM	学部	法律	平成	22
4260	にしこうへい	西　航平	YM	学部	法律	平成	22
4261	いずみしょうた	和泉　将太	YM	学部		平成	22